

ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、令和7年8月17日から20日までの3日間にわたり、沖縄県で開催された陸上の全国大会に出場した市内中学校在籍の3人の生徒をご紹介します。

「第52回全日本中学校陸上競技選手権大会」に出場



左：庄野巧真さん(武蔵台小中)
中：野崎孝太郎さん(高萩中)
右：保坂和麻さん(高萩北中)

人生最高の夏！
人生最高の瞬間！

武蔵台小中学校9年生 庄野巧真さん

男子100mに出場

自分は、城西大学のコーチが陸上を物理学の観点から分析した練習メニューのおかげで、質の良い合理的なトレーニングを行えました。

競技終了後、電光掲示板に3位という順位が発表されたときは、とてもうれしく、15年間生きてきた中で最高の瞬間でした。しかし、大会を終えた現在では、入賞の喜びよりも1位ではなかったことの悔しさの方が勝り「あそこでもう少し違う走り方ができたのではないか」という後悔の思いが既に湧き上がっています。

この悔しさを胸に、今後出場

する国民スポーツ大会やジュニアオリンピックでも入賞を目指して頑張っています。

3年間の集大成を
最高のカタチで

高萩中学校3年生 野崎孝太郎さん

男子110mハードルに出場

普段の部活動で見つけた課題を顧問の先生に相談し、地道に自分の課題を乗り越えていくうちに、リズム感がどんどん良くなっていました。

今までの大会は、予選で記録が振るわず、決勝で巻き返していく流れでした。

しかし今回は、予選の段階からとても調子が良く、自己ベストを出せました。中学校生活3年間の集大成を出すつもりで臨んだ大会だったので、2位という結果を出せて、すごくうれしかったです。

今後は、高校でも陸上を続けるつもりです。インターハイ優勝を目指して頑張ります。

逆境に負けず
最後まで食らいつき

高萩北中学校3年生 保坂和麻さん
男子110mハードルに出場

クラブチームのコーチや顧問の先生に熱心に指導していただ

わが家の愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか？
電子申請で簡単に投稿できます。



岡田晃希ちゃん(6歳)
明莉ちゃん(4歳8か月)



志賀祐月ちゃん(1歳8か月)
岡戸凜奈ちゃん(1歳5か月)

編集室

11月に入り、いよいよイベントの秋最盛期を迎え、市でも「日高市民まつり」や「ツーデーウォーク」などが始まります。自分も広報担当として今まで培ってきたことを生かし取材に臨みたいと思います。ただ、さまざまな場所に取材に行けば行くほど広報を編集する時間はなくなるわけで、「取材から帰ってきたら広報が完成してたりしないかなあ」そんな妄想が頭よぎる今日この頃。(一)